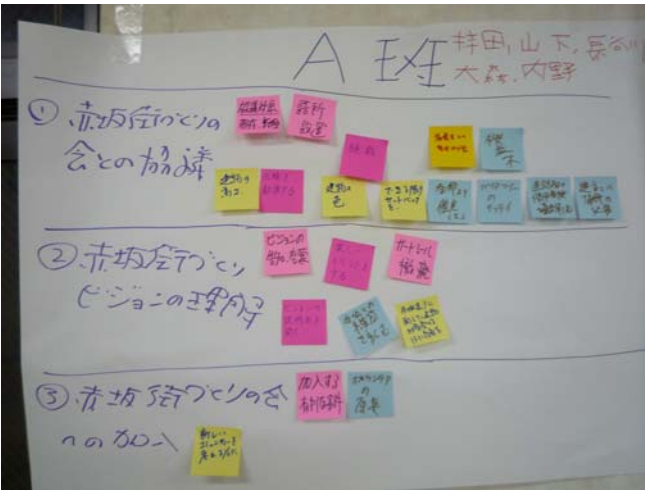


【赤坂通りビジョン説明会とワークショップ(赤坂通りの防災活動報告を含む)】 (文責:連)

- 日時: 8月8日(木) 18:00~20:00 ■ 場所: 赤坂消防署新町出張所 ■ 参加者: 20名
- 内容: ①赤坂6・7丁目赤坂通り沿道エリア まちづくりビジョン説明(田中氏)
- ②旧日大三高通りのリニューアル計画<一方通行>の報告(寺腰氏)
- ③赤坂通りの防災活動について(山下氏)
- ④わがまちルールづくりワークショップ(連)

■ 我が街ルールづくりワークショップ報告

4つのグループで、以前のワークショップから得られた10の視点を通して、KJ法でまとめ、発表を行った。



■ 10の視点でディスカッション A班は①②③、B班は④⑤、C班は⑥⑦、D班は⑧⑨⑩を分担してまとめた。

- ①赤坂通り街づくりの会との協議→建築計画側が協議会に来て説明し、意見交換をして調整する形をつくる。
- ②赤坂通り街づくりビジョンの理解→ビジョンの内容を多くの人に知ってもらうように啓蒙、広報、イベントを実施
- ③赤坂通り街づくりの会への加入→ボランティアの原点、建築計画側が入会してもらえるような仕掛けを考える
- ④赤坂の歴史・文化の継承・創造→和の文化、食文化、和と洋、国際性、花街、コダワリの必要性、人力車
- ⑤赤坂の景観への配慮(建物の色・形・デザイン)→黒ベイ、敷居が高いでもちょっと入ってみたいというデザイン
- ⑥バリアフリーへの配慮→お年寄りに優しい街、狭い歩道を改善、多言語の表示、防災マップ
- ⑦緑の配慮→新規の植栽は桜を植えるように勧める。植栽(和モダン)の統一感、皆で植栽を管理(掃除と一緒に)
- ⑧広告・看板の規制と誘導→大きさを揃える。和モダン、原色はダメ、切り文字、外照式看板の奨励、登り旗はダメ
- ⑨用途の規制と誘導→風俗はダメ、オーナーのモラルや意識が大切、入居条件に組み入れる。
- ⑩回遊への配慮→新しいお店を誘導、歩行者天国にすると店が来る。赤坂通りと旧日大三高通りを繋ぐ道を整備。

■ 建築計画側が赤坂通りまちづくりの会に訪して計画を説明、意見交換を行った。

○ 計画側: (仮)テラス赤坂、建築主: (株)アトリウムリアルティ、(有)リアイズジャパン

赤坂通りのビジョンを理解してもらうと共に、計画に対しての意見交換

- ・ 落ち着いた外観への配慮、1階部分の通り抜けがOKであること、鋭角部の植栽部分の緩和、街づくりの会への参加要請などが話し合われた

→協議調整型まちづくりの第一歩の事例となった。

